

保護者及び地域の方々の御支援と御協力を賜り、72日間に渡る第1学期を大過なく終えることができました。誠にありがとうございました。

平成26年7月18日(金)、1学期の終業式の中で、1年生の「中野結香」さん、2年生の「市川玲捺」さん、3年生の「高木 凌」くんが、各学年の代表として、一学期を振り返るとともに、今後の課題についても力強く述べてくれました。

学年代表の言葉「1学期を振り返って」

その一部を紹介します。 **故郷に誇りを持ち、輝かしい未来に向かって、躍動し続ける生徒**

中野結香さん
1年1組



私の学級は、今の時期の暑さに対抗できるほど元気です。また、男女の仲が良い所や何時でも挨拶が出来る所、物事に積極的な所も私の学級の良い所です。2学期は、授業中の私語の削減を目標とし、より良い1年1組を作っていきたいです。そして、1年1組の最高の仲間と共に、深中三大行事を楽しみ、私達全員が一致団結していきたいです。諺に、「二兎追う者は一兎をも得ず」とありますが、私は、「勉強、部活動、学校行事」の三兎を追っていきます。



市川玲捺さん
2年1組



先週に実施された自然体験宿泊学習では、委員の意識と積極性に欠けるために、一度、実行委員会は解散となりました。改めて、実行委員会が再結成され、企画及び運営等を進めてきました。先生方の手はほとんど借りずに自分達で考え、話し合い、行動しました。当日は、天候不順のために予定通りにいかないことも多々ありましたが、全員が臨機応変に行動することができていました。これは、2年生一人一人がその場に合った行動が出来るようになったという証です。これからも、2年生全員がもっと先を読んで行動していけるように頑張っていきたいです。



高木 凌くん
3年1組



3年生の最大行事である修学旅行は、とても良い思い出となりました。僕は委員長として、修学旅行をより良いものにするために、会議を開き、放課後遅くまで準備をしました。1年生の時から言われている不要物の持ち込みを無くすために、繰り返し、何度も呼びかけました。その結果、不要物の持ち込みが無くなり、学年としてもレベルアップを図れた1学期となりました。さて、2学期は、学期の中で一番長い学期です。中だるみにならないように、自分が今、何をすべきなのかを明確にして、無駄のない生活を送り、2学期を振り返った時に1学期と同じような充実感が得られるように、2学期も様々な体験をして成長していきたいです。



【第1学期終業式の校長の言葉より(一部抜粋)】 朝を制する者は、自分を制する

1学期の終業式にあたり、「HONDAの挑戦」についてお話をします。本田技研工業を一代で築き上げた本田宗一郎氏は、経営者として、様々な名言を遺しています。次の言葉もその1つです。「**チャレンジして、失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れる!**」

ホンダがF1レースに参戦するようになって、今年で50周年を迎えます。F1参戦を決めた昭和37年(1962年)当時、ホンダはまだ2輪車専門のメーカーでした。4輪車を1台も販売したことがない会社のチャレンジは、無謀だと言われましたが、昭和39年(1964年)にF1レースに初参戦し、翌年のメキシコ・グランプリでは、見事、初優勝という快挙を成し遂げたのです。「日本の弱小メーカーが世界のレースに参加しても歯が立つわけがない」と言われながらも挑戦したのは、本田宗一郎氏の志、熱き思いからでした。

最初から無理だと諦めてしまうことは簡単です。しかし、挑戦・チャレンジしなければ得られないものはたくさんあります。その挑戦・チャレンジができるのが、この夏休みです。

何事も、「できる・できない」ではなく、「やるか・やらないか」です。結びに、夏休みを迎える皆さんに、この言葉を贈ります。

清水明弘さんが書いた本の中に「習慣を変えると頭が良くなる」(高陵社書店)というのがあります。その中に、こんな言葉があります。

それは、「**朝を制する者は、自分を制する**」です。毎朝、早く起きると、

- ① 朝ごはんがしっかりと食べられる。
- ② 暑くなる前、疲れる前に勉強することができる。
- ③ 新鮮で、前向きな気持ちになれる。
- ④ 自分を「律する力」が蓄積される。 からと、ありました。

学校が無く、強制力が働かない夏休みこそ、自分を律する力が必要となります。「早起きをする」という鍛錬を重ね、精神力も高めてください。精神力を高めることで、様々な困難に立ち向かっていくことができるようになります。

朝を制する者は、夏を制します。夏を制する者は自分を制します。特に、三年生。朝を制し、自分を制する者のみが、受験も制します。「夏、相手は自分」です。そして、チャレンジ精神を忘れずに、頑張りましょう。



感謝・自信・誇り「楽しさに満ちあふれる学校」

校訓「**独立自尊**」—自ら考え、誇りを持って行動し、明日の未来を切り拓く

第2学年「自然体験宿泊学習」7/9・10

2年生は、社会体験チャレンジ事業の準備と並行するという厳しい日程の中でしたが、「自然体験宿泊学習」を見事な『僕らが創るストーリー』に仕上げてくださいました。雨天のために、キャンプファイヤーは出来ませんでした。何事もなかったかのように生徒一人一人が動き、厳粛で、心温まる素敵なキャンドルサービスでした。感動をありがとう!



正義・友情・希望・協力・感謝



二日目は飯ごう炊きさんとカレー作りでした。それぞれ仕事を分担するところと、みんなで協力するところと絶妙な班活動で、ごはんもカレーができていました。カレーの隠し味も工夫があり、どの班もおいしくできました。宇山杯最優秀賞は5組1班、優秀賞は1組1班に輝きました。昼食の後も雨で予定を切り上げ早めの帰校となりました。この二日間、実行委員の準備の良さと当日のリーダーシップを発揮した運営の良さ、そしてその動きに協力する生徒全員の意識の高さが際立ちました。集合はいつも早く予定の五分前には活動が始められました。一年生のスキー教室での反省から、不要物の持ち込みもなく、しおりを基に進んで活動ができました。一緒に行かせてもらい、とても気持ちのよい素晴らしい二日間でした。

大型の台風8号の接近により、雨天の心配がある中での出発となった2年生の自然体験宿泊学習。天候次第ではスケジュールの変更もあり得ることは最初の段階で知らされました。はじめの訪問場所、世界遺産に登録された、富岡製糸場は朝早い時間にも関わらず多くの人で混雑していました。その中での班行動、集合時間前にはすべての班がそろいました。池ノ平湿原でのハイキングは、晴天の中自然を満喫しました。しかし途中から雷雨により宿舎へ、その後も雨は降り止まず、キャンプファイヤーも室内でのキャンドルサービスに変更になりました。しかし実行委員が中心となり、すばらしい盛り上がりを見せた第二部のスタンツと、ダンス。二年生の笑顔が印象的でした。

一年生の成長と素晴らしさが感じられた二日間
嬉恋高原火の神(福島教頭)

ふれあい講演会「6/24」



今年度は、パラリンピック・ソチ大会で活躍された「村岡桃佳(正智深谷高:3年)」さんをお招きし、インタビュー形式による講演会を開催しました。

【村岡桃佳さんの言葉】
◇ **何事にもチャレンジすることが大切!**
◇ **夢は努力すれば必ず叶う!**
◇ **とりあえず挑戦してみよう!**

ある生徒が、村岡桃佳さんに「何が、いちばん大変ですか?」と質問をしたところ、村岡さんは、こんなお話をされました。 **不幸・不便・不憫**(あわれむこと) コンビニ等のお店に入って、棚の高い所にある品物を取ろうとしても取れない時は、さすがに**不便**さを感じます。私は、小学校の時から車いすによる生活を送っていますが、そこには、この生活を、なかなか受け入れない自分がいました。そんな時に出会ったのがチェアスキーでした。チェアスキーに挑戦することで、私は、風を切る音というのを知り、爽快感も体感しました。初めて、私は、健常者と同じ気持ちになれたと思いました。こんな感動、体感は生まれて初めてです。私は、**不幸**であると感じたことはありません。大変だと感じるの、人の視線です。私のことを**不憫**そうに見つめる冷たい視線を感じた時は、さすがに辛く大変です。これからの課題は、人として、心のバリアをどう取り除いていくかだと思っています。

平成26年度学校総合体育大会県大会終わる!
○ラグビー部 優勝(三冠達成!) [7/20]
○野球部 第3位(東日本大会出場) [7/28]
○柔道部女子 個人 第3位 湯浅美久さん [7/25]

